

We are proud of Kizugawa-city.

KYOTO KIZUGAWA CITY

絆人 Kizuna-Bito

VOL.01



あなたのサポートがこのまちの明日をつくる

風にきづいて 未来をきざく



京都府木津川市



Love for Japanese Local

[絆人 Close Up 1]

“土が育む”本物の味“を届けるために

Red Rice 自然農園株式会社

あこう たつお みか
赤穂 達郎さん・海佳さん

きっかけは“ゴボウ”

スライスされた生の茄子をかじって驚いた。ほんのりと甘みが広がり、アクやえぐみを一切感じないまま、すうと喉を通っていく。

「本当に美味しい野菜って、食べやすいんですよ」。こう語るのは、木津川市加茂町で野菜を栽培する赤穂達郎さん。10年以上勤めていた会社を辞し、2013年に妻の海佳さんと、Red Rice 自然農園をはじめた。特長は、肥料や農薬を使わず、自然の力で野菜や米を育てる“自然栽培”であること。

「最初から自然栽培を目指していたわけではありません。でもある日、自然栽培のゴボウを食べて、衝撃を受けました」



夫婦であり、共同経営者でもあると話す達郎さんと海佳さん



紫芋や安納芋を栽培している畑



収穫されたばかりの安納芋。野菜は個人や有機野菜を扱う商店等に販売している



粘土質の土壤に合うのでは、と水田を蓮田にした。自然栽培のレンコンは貴重なので引き合いが多い

食べたのはシンプルな煮物だったが、口に入れると、ジューシーで深いうまみを感じられる。こんな野菜を買いたい、他にもほしい人がいるはずだ。達郎さんは、自然栽培の農業を仕事にしようと決意した。

加茂の土を知る

達郎さんと海佳さんは、愛知県で農業研修を受けた後、祖父の土地があった加茂町へ移住。水田であった土地に排水の溝をほり、土質を改善することからはじめた。

「当初は失敗ばかり。自然栽培は土がすべてなのに、加茂の土のことがわかっていなかった」



畑で作業する赤穂さん夫婦。
海佳さんも、畑の耕起から、除草、収穫まで何でもこなす

約60種類の野菜を試し、どれならば育つか、一定の収量が見込めるのかを見極めていく。せっかく植えたいが、つまいもが、水害で全滅したこともあった。しかし、土を知り、自身で種から育てた苗を植え、できた野菜の残滓を土にすき込むことで、自然栽培のサイクルが整うにつれ、野菜本来の優し味を感じられると固定客が増えていった。

「やっぱり加茂の風土にあっているもの、昔からこの地で作られているものはよくできます。美味しい野菜ができて、お客さんが喜んで食べてくれるのが一番うれしい」

ニッポン・ローカルの魅力発見

「続けていく」ために

就農して8年目となる今、感じているのは、続けることの難しさ。最初はチャレンジ精神で乗り切れても、翌シーズンは、前年の作物の片付けなど、負荷が増えたところからはじまる。近年の天候不順もあり、去年通りには通用しない。

「農業に限らず、仕事を続けるために必要なのは、収益と良好な人間関係」と考える達郎さんは、2020年、Red Rice自然農園を法人化した。多くの農家にとって、人間関係イコール家族関係。曖昧になりがちな、仕事と家族の時間を分け、海佳さんの負担を減らしたいという理由もあった。

「より良い状態で続けたいじゃないですか。農業も、家庭生活も(笑)」

自然豊かな加茂町の青空のもと、Red Rice自然農園の畑では、健やかに育った野菜たちが収穫の時を待っている。

☆Red Rice自然農園の野菜は、木津川市ふるさと納税の返礼品です。



寄付額 10,000円

「Red Rice自然農園の野菜と赤米」または
「Red Rice自然農園の自然栽培の野菜たち」

野菜の持つ本来の味を追求した
自然栽培の野菜たちを召し上がってください。

赤穂さんからのメッセージ

提供：Red Rice自然農園(木津川市加茂町)

☎ 090-2268-5183 <http://redrice.info>



ふるさと納税はこちらから



Love for Japanese Local

[絆人 Close Up 2]

自分がおもしろいと 感じるものを

arumitoy

たご あゆみ
多胡歩未さん

日本では無理！
ドイツでもちゃ修行

ヒツジやキリンなど、動物がモチーフのガラガラは押さえるとやさしい音が出る。パーツをひもに通したり、外したりできるイモムシ型の人形。穴のあいた木の筒に、木のスティックを差し込んで組み立てるブロックは、いろんな遊び方ができそう。こんな楽しい木のおもちゃをデザインし、制作、販売まで手掛けているのが arumitoy (木津川市加茂町) の多胡歩未さんだ。

「高校生の頃から、木のおもちゃが好きで、作る人生を歩むんだろうな」と思っていました。でも大学でデザインを学んで、さあ、就職だと思って見まわすと、日本には私の行きたい道がなかった」



染料はすべてベニバナなどの植物由来。子どもが口に入れても安心



「ステイホーム期間中に考案した「おうちで遊ぼうセット」



築100年の古民家をリフォームした店



おもちゃに使っている木は、木目の美しいブナ(ヨーロッパビーチ)

惹かれるおもちゃがドイツ製であったことから、多胡さんは資金を貯めてドイツに渡る。半年間、集中的にドイツ語を学んだ後、ドイツ国内のおもちゃ作家や職人を訪ね歩いた。そして、「波長があって、この人だ!と思った」というノベルト・フェアノアさんに弟子入り。工房に住み込み、2年半、みっちり木のおもちゃ作りを学んで帰国した。

まずは作る。他は「後付け」

なぜ木なのか。多胡さんは「木は生きています。生きています。素材が好きだから」と話す。作る人生と言っても、職人のように精緻な工芸品を作ったり、他人のアイデアを形にしたりすることは、興味はなかった。自分の

考えたモノを作りたい。その思いに、ただひたすら突き動かされてきた。

arumitoyの店内にディスプレイされているおもちゃには、1歳さんにおすすめの3歳さんが夢中などの説明が添えられている。しかし実は、それらはすべて「後付け」。自分が作りたいモノを作り、それを何歳頃の子どもが好むのか、どうやって遊ぶのか、観察して書くのだと言う。

「この歳の子どもにこれを作る、これを作ったら売れるかも、という発想はないんです。私がおもしろいと思うものを作る。その後、アピールの方法や売り方を考えるから、売る段階まで行くのにすごく時間がかかる」



後ろに見える大きな花は、子どもの力で回せる壁かけのおもちゃ。グッド・トイ賞を受賞したおもちゃもある

ニッポン・ローカルの魅力発見

揺るぎない創作意欲と、子どもの反応を受け入れる柔軟さが、多胡さんのおもちゃ作りの根幹だ。

どんな時も

「おもしろい」を忘れない

コロナ禍によるステイホームの期間、自身の子どもたちのストレスが増しているのを実感した。その時に作ったのが「おうちで遊ぼうセット」。

「こんな時こそ、私がおもしろい事を考えようと思いました。家の中で遊べて、体を動かさせて、自分がやってみたいと感じるような」

面取りされたヒノキのプレートの30枚セット。材料は、知り合いの製材業者に声をかけ、間伐材を分けてもらった。プレートにアクリル絵の具で、手形や足形をペタペタしたら、並べてトイレまでルート設定したり、目印にして飛んだり、木製カルタにしたり。独自のルールを作って、子どもたちは汗だくで遊んだ。

自分の感性を信じることの素晴らしさを、多胡さんのおもちゃは教えてくれる。

☆ arumitoyのおもちゃは、木津川市ふるさと納税の返礼品です。



寄付額 15,000円

「口に入れられるおもちゃ 木の動物ガラガラ」または「2才児が好きな ひも通しおもちゃ 集中力がつく木のおもちゃ」

赤ちゃんは舐めたいのです。2歳さんは自分でやりたいのです。そんなちびっ子達の願いが叶うおもちゃを作り続けていきたいです。

多胡さんからのメッセージ

提供 : arumitoy(木津川市加茂町)
☎ 0774-34-0625 <https://arumitoy.net/>



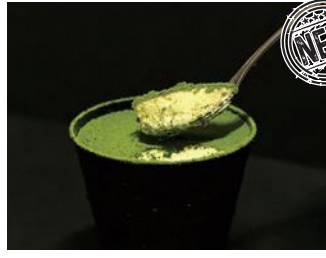
ふるさと納税はこちら



中山珈琲焙煎所のスペシャルティコーヒー豆
4種セット(各100g) 合計400g

寄付額 10,000円

中山珈琲焙煎所の特徴ある4種類のブレンド豆。
色々な味をお楽しみいただけます。



神ティラミス(神ちょこセット)

寄付額 10,000円

森田製茶の石臼挽き宇治抹茶とまるやかなマスク
ポーネチーズを合わせた濃厚ティラミス。



[HITTITE]天板が分厚いシリーズ
"TheLow90"ベンチチェア

寄付額 100,000円

どっしりとした天板に、スタイリッシュなアイアンの
脚を組み合わせました。存在感が魅力。



手作り石けん詰め合わせ

寄付額 10,000円

柿渋や木津川市産高級抹茶を使用したスキンケ
ア効果の高い石鹸のセット、消臭効果もあります。

ふるさと応援基金 お礼の品



木津川市ふるさと応援基金サイト

ご紹介している品は一部です。
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。



柿渋マスク

寄付額 10,000円

柿渋染めによる植物性天然素材100%の手作り
マスク。四季を通じて繰り返し使用可能です。



ブルーベリー摘み取り体験(2名)
1キロ×2名分のお土産付

寄付額 15,000円

木津川市山城地区の自然豊かな土地で栽培された
ブルーベリーの摘み取り体験をしてみませんか?



かせやまの柿~富有柿 Lサイズ 約3.5kg

寄付額 10,000円

古くから柿の名産地として知られる木津川市鹿背
山地区で栽培された、甘みの濃い富有柿。



お花のレースサブレ 6枚セット

寄付額 10,000円

アイシングによるレース模様、エディブルフラワ
ーの押し花で彩りを添えた美しいサブレ。



熊沢良尊作将棋彫駒一式

寄付額 350,000円

高級日本産ツグを使った深彫りの良尊作の駒。
ビッグタイトル戦にも使われます。



あなただけの相楽木綿

寄付額 100,000円

お好みの柄と色糸の組み合わせ、あなただけの
相楽木綿を織らせていただきます。



ミニチュアグラウンドマンホール

寄付額 15,000円

木津川市の四季や風景をモチーフにデザインされ
た観賞用ミニチュアマンホールをお届けします。

皆様からの寄付金はこのように使われています
木津川市ふるさと応援基金の活用事例



令和元年度 結団式・出発式

体験を通じ、小さな国際人を育成しています！
～中学生国際交流事業～

海外の中学生、市民等との交流やホームステイを通して、市民の国際交流を推進しています。「中学生海外派遣事業」では、市内の中学生を当市との友好都市であるアメリカ・カリフォルニア州、サンタモニカ市へ派遣。同市のジョン・アダムス・ミドルスクールの生徒の受け入れも実施しました。外国の文化、習慣に直接触れることで、グローバルな視点から郷土を見直し、未来の木津川市と日本を担う、国際感覚を備えた人材育成を目指しています。

活用金額:「子ども夢・未来事業」より190万円

木津川市国際交流協会は「中学生海外派遣事業」の運営など、
国際感覚を身に着けた優秀な人材の育成に今後も取り組んでいきます。

木津川市国際交流協会 会長 山川博一

あなたのサポートがより良いまちづくりにつながります!!



木津川市のファンを大募集!!

木津川市は、土地、人、もの、たくさんの魅力にあふれるまちです。木津川市が発行する「絆人Kizuna-Bito」では、毎号 木津川市の魅力的な人たち「絆人」を紹介していきます。絆人の紡ぐストーリーに関心を持ち、木津川市に興味があれば、ぜひ木津川市のサポーターになってください。そして木津川市へお越しください。わたしたちが受け継いだ、大切な多くの宝物を後世に伝えていくために、皆さまの応援が必要です。

木津川市へのふるさと応援基金に関するお申し込み、お問い合わせは



ふるなび



さとふる



地域から日本を元気に！
楽天ふるさと納税

セゾンのふるさと納税



木津川市へのふるさと納税サイト

編集後記

実は今まで、ふるさと納税の返礼品って、どこかカケのような気がしてたんです。でも今回の取材で、返礼品には作り手のいろんな思いが込められているのだなと実感できました。たくさんの地域を知って、応援して、日本がもっと良くなるといいなと思います。(山)

結婚を機に木津川市に暮らしを構えて17年。「木津川市の素敵と出会う」ことを重ねてきました。

今回の取材でまたさらに『木津川市の素敵』と出会うことができました。もっともっと色んな木津川市に出会っていきたいと思います。(岡)

「絆人」の取材は、自分たちも知らないストーリーや魅力が、まだこんなにも埋もれているということを実感しました。このまちは、未完成だから面白い、まだまだ知らない魅力にあふれていると感じました。ふるさと納税は、そんなまちの未来を共有すること、まちの進化を楽しんでいくことができる(松)

木津川市をもっと知ってみませんか

木津川市はどこにある？

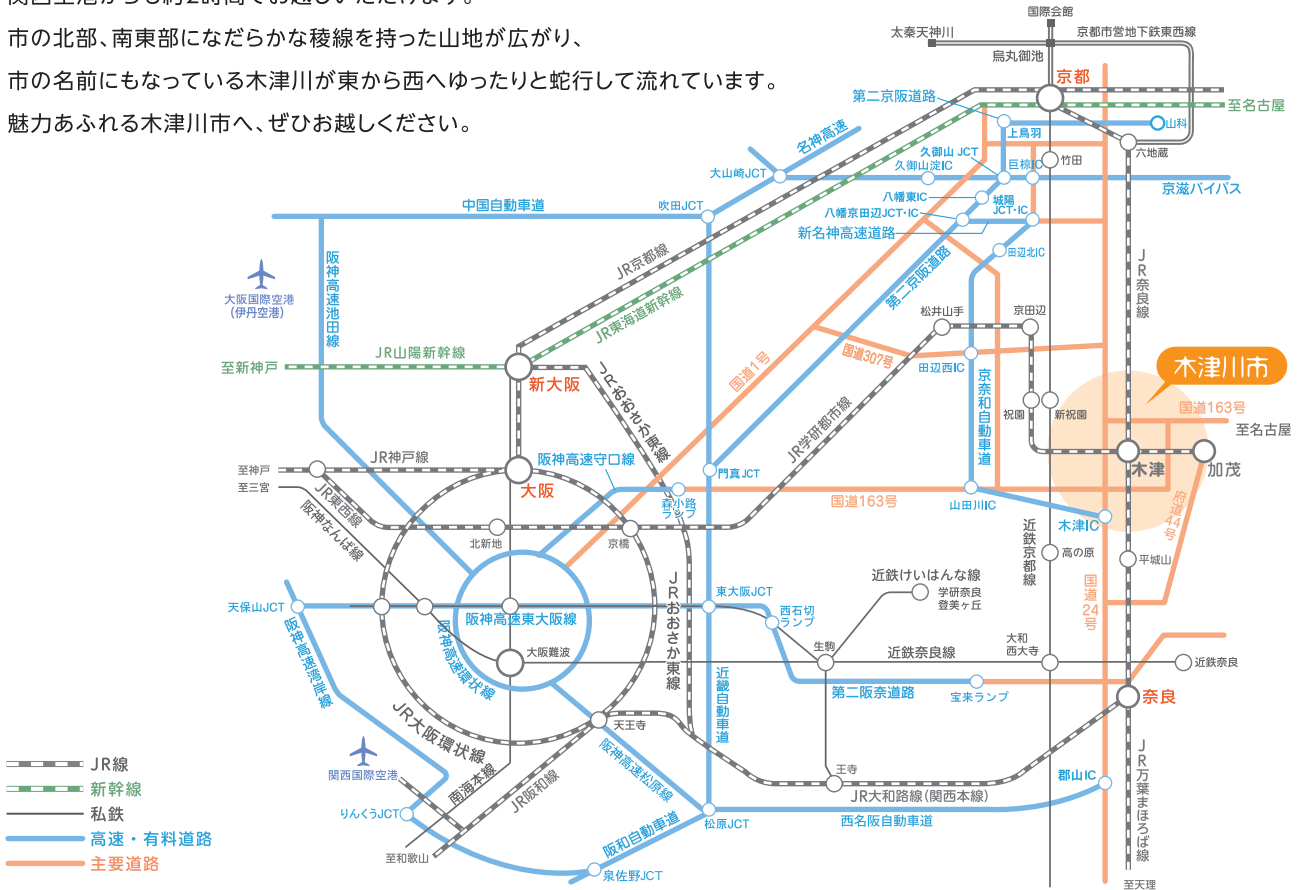
近畿のほぼ中央に位置し、京都・大阪の中心部から約30キロメートル圏内にある木津川市。京都府内では京都市に次ぐ数の国指定有形文化財を有し、豊かな自然・里山が広がっています。また、先人から受け継がれてきた歴史遺産とのどかな景観が楽しめる一方、近年では国家プロジェクトである「関西文化学術研究都市」の一翼を担う都市としての建設が進められています。



木津川市を訪ねてみませんか

木津川市へのアクセス

首都圏からは新幹線・電車の利用で約4時間、近畿圏内の市町村からは、電車・自動車の利用で短時間でアクセス可能。関西空港からも約2時間でお越しいただけます。市の北部、南東部になだらかな稜線を持った山地が広がり、市の名前にもなっている木津川が東から西へゆったりと蛇行して流れています。魅力あふれる木津川市へ、ぜひお越しください。



※上記の路線図の一部路線、駅やインターチェンジは省略しています。